

# 美桑が丘

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校  
令和7年度学校だより

第10号 R8. 1. 30発行

## 3学期のスタートにあたって

校長 越 湖 憲 治

始業式で、子どもたちに「3学期は、今年度をまとめると同時に次年度の準備を進める学期です。…ただ、まとめの学期ではありますが、みなさんにとっては成長の通過点でもあります。今やらなければならないことは何か、今しかできないことは何かを常に振り返り、短期的な目標と長期的な展望をもってほしい。」という内容の話をさせていただきました。

みなさんの記憶にもあると思いますが、昨年度のメジャーリーグベースボールでは大谷翔平選手が3年連続で最優秀選手(MVP)となりました。野球界のみならずアスリートの長者番付でも副収入世界1位と、今では大谷選手を見ない日はないと言っても言い過ぎではないように感じています。そんな、大谷選手を違った視点から捉えた本をこの冬休みに読むことを楽しみにしていました。

題名は「さよなら、天才 大谷世代の今(著者 中村計)」

“かつて天才と呼ばれた同世代がいた。大谷に「負けた」と言わせた少年。…”の表紙から始まり、紹介される6人に視点を当て、大谷選手との対戦そして今の思いが綴られています。

野球好きの私にとっては、6人の選手をなんとなく思い描いて読み進めるのですが、最終ページにたどり着いた時、そこに綴られていた“だが、それ以上に彼らも知悉(ちしつ)しているのだと思った。…”の言葉に、主人公たちは、「人それぞれで輝き方は違い、他と比較して羨むものではない。」と言っているのではないかと、これまでの考えを改めさせられたように思えました。そして、自分自身の輝きに自信と誇りをもって信じてやまないものになりました。それは、まわりからは失ったと思われるかもしれない今現在もそうであると。

子どもたちが、これから旅立つ社会がどのように変化していくかは誰にも予測がつかない状況にあります。ただ、自分に合うか合わないかで輝きを失ってはいけないと思っています。どんな状況が待ち受けていても現在の自分としっかりと向き合い、輝きを放ち続けることが必要だと考えます。輝きの量を比較するのではなく、自分にとっての今やらなければならないこと、今しかできないことを輝きのエネルギーとして…。

3学期も子どもたちの成長を共に感じる事ができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### ■受賞おめでとうございます

○第16回全国学校図工・美術写真公募展

奨励賞 津志田 紗 松田 大聖 渡辺 心桜  
入選 板橋 太一 佐藤 大翔 菅野 陽翔  
武石 桃佳

○第58回北海道中学校スキー大会

スペシャルジャンプ競技 第1位 竹本 祐那  
2月に長野県で行われる全国大会進出

○上川北部地区中学インドア1年生大会

女子の部 第2位 菅野・野崎ペア

○名寄地区アンサンブルコンテスト 銀賞 吹奏楽部

○第28回下川町児童生徒福祉標語

最優秀賞 鴨田 柚衣 優良賞 小西 琉椰 佳作 黒川 愛美



# 小中連携の取組

## ■かがやき学級との合同自立活動を実施

12月17日(水)5時間目、下川小学校体育館にて、かがやき学級の児童と本校特別支援学級の生徒が合同で自立活動を行いました。ドッジボールや鬼ごっこ、紙飛行機飛ばし大会など、体を動かしながら楽しい時間を過ごしました。たくさんの保護者の皆様にもご参観いただき、最後は全員で記念撮影を行いました。子どもたちの笑顔がふれる、心温まる交流のひとつとなりました。



3月3日(火)には、小中学校それぞれの卒業生をお祝いする「卒業を祝う会」を実施します。子どもたちがゲームやプレゼントを企画・準備し、卒業生への感謝とお祝いを込めた楽しい会にする予定です。保護者の皆様もご参加いただけます。詳細は後日改めてご案内します。

## ■食育の授業

12月17日(水)～19日(金)、下川小学校栄養教諭の神谷滯子先生による食育の授業を各学年で行いました。今回のテーマは、「塩味(食塩)」です。

私たちの食生活に欠かせない食塩ですが、摂り過ぎると高血圧や生活習慣病の原因になることもあります。授業では、基本の五味のひとつである塩味の役割や、望ましい摂取量について理解を深めました。

さらに、実際にみそ汁の試飲を行い、塩分量による味の感じ方の違いを体験しました。「出汁のうま味で塩分が少なくてもおいしい！」と響く声もあり、子どもたちは減塩の工夫を実感できたようです。この体験を通して、過剰摂取が体に及ぼす影響を知り、健康のために自分で摂取量を調整しようとする意識を高めるきっかけになったと思います。



## ■リングプル回収活動のご協力、ありがとうございます！

本校生徒会では、リングプルを回収し、70kg集まると車椅子と交換できる活動を続けています。これまで町立病院、公民館、Qマートに回収ボックスを設置し、多くの皆様にご協力いただきました。

この度、さらに地域とのつながりを広げるため、新たに下川商業高校、あけぼの園、まちおこしセンター「コモレビ」、森のなかヨックルにも回収ボックスを設置させていただけることになりました。

皆さまの温かいご協力が、車椅子を必要とする方々への支援につながります。引き続き、リングプル回収へのご協力をよろしくお願いいたします。



## ■2月の予定

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 2日(月) 全校朝会、安全点検日、校内研修、栄養教諭来校日 | 13日(金) 私立高校一般入試、6年生中学校1日体験、新入生説明会        |
| 3日(火) テスト前学習会(1・2年)           | 16日(月) 職員会議                              |
| 4日(水) 第3回学力テスト(1・2年)          | 18日(水) 参観日                               |
| 5日(木) スキー授業(1・2年)             | 20日(金) テスト前学習会(1・2年)～25日(水)まで            |
| 9日(月) 職員会議                    | 26日(木) 学年末テスト①(1・2年)、職員会議、PTA運営委員会・推薦委員会 |
| 10日(火) 公立高校推薦入試               | 27日(金) 学年末テスト②(1・2年)、常任委員会               |
| 12日(木) 職員会議                   |  |

## ■学校評価(期末)アンケート結果報告

11月25日(火)～11月28日(金)の期間に生徒、保護者、教職員、学校運営協議会委員の皆さんに学校評価アンケートを実施しました。その結果を分析し、成果と課題を整理し、改善に向けた今後の取組をまとめましたのでお知らせいたします。

### 【成果】

(1)「安心・安全」に関する質問項目について、保護者、生徒、教職員、学校運営協議会委員いずれも肯定的回答(そう思う・ややそう思う)の割合が、中間評価に引き続き高い水準を維持しています。今後も、安心して学べる学校づくりに努めてまいります。

保護者			生徒			教職員			学校運営協議会委員		
質問	期末	中間	質問	期末	中間	質問	期末	中間	質問	期末	中間
お子様は、安全・安心に学校に通っていると感じますか。	95%	96%	健康や安全に関するルールやマナーを守って行動していますか。	94%	100%	健康安全に関する指導は十分である。	92%	92%	生徒の安全確保(学校周辺、通学路等)ができていますか。	80%	100%

(2)「授業」に関する質問項目について、生徒、教職員いずれも肯定的回答の割合が中間評価に引き続き高かったものを右の表に示しています。授業の見通しを明確にし、生徒が主体的に発表できるよう支援するなど、授業設計の工夫を進めています。こうした取組により、授業のわかりやすさが向上し、生徒の発表に対する質の向上への意識につながっていると考えられます。今後も、生徒一人ひとりが意欲的に学べる授業づくりを目指して取り組んでまいります。

生徒			教職員		
質問	期末	中間	質問	期末	中間
授業は分かりやすいですか。	88%	89%	生徒が単元や授業の学習課題に対して、見通しをもって解決できるよう工夫している。	100%	92%
授業で発表するときに、自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫していますか。	92%	92%	授業で生徒が主体的な発表をできるよう支援している。	100%	100%
課題に対してどうすればよいかを自分なりに考えるようにしていますか。	84%	79%	授業で協同場面の設定をし、学びを深める働きかけをしている。	100%	100%
何事も途中であきらめずに、最後までやり抜こうとしていますか。	92%	97%	生徒が目的・目標に向かって最後までやり抜くことができるように支援を行っている。	100%	100%

(3)「保護者・地域との連携」に関する質問項目について、保護者、教職員、学校運営協議会委員いずれも肯定的回答の割合が中間に引き続き高かったです。本校では、地域の豊かな資源を活用し、学校外の方々と連携を進めています。こうした取組は、生徒に新しい視点や体験をもたらし、学びの意欲や人間的な成長につながっています。これからも、地域とともに歩む学校づくりを大切にまいります。

保護者			教職員			学校運営協議会委員		
質問	期末	中間	質問	期末	中間	質問	期末	中間
学校と家庭が協力して子どもたちの成長を支えていると感じますか。	91%	91%	家庭・地域との連携を効果的に行っている。	100%	100%	地域資源を活かした教育活動が、子どもたちの成長につながっていると感じますか。	100%	100%

【学校外の方々と連携した主な取組】

- NPO 法人森の生活
  - ・町の林産業と歴史(1年)
  - ・町の木材利用(2年)
  - ・職場体験(2年)
  - ・まちづくり学習(3年)
- 役場森林総合産業推進課
  - ・植樹祭(2年)
- 下川商業高等学校
  - ・職場体験中高合同発表会
  - ・中高合同進路ガイダンス
  - ・近隣高校合同説明会
- しもかわ観光協会
  - ・アイスキャンドル作り
- 町内の企業・施設
  - ・職場体験(2年)

### 【課題】

(1)「家庭学習の習慣化」に関する質問項目について、中間評価を受けてさまざまな改善策を講じてきましたが、今回の結果では、保護者・生徒の肯定的な回答割合がやや減少しました。

保護者			生徒			教職員		
質問	期末	中間	質問	期末	中間	質問	期末	中間
お子様は学校の授業以外で、学習に取り組むことが習慣になっていると思いますか。	55%	65%	授業以外で、学習に取り組むことが習慣になっていますか。	63%	79%	生徒の家庭学習の習慣化の取組は十分である。	83%	61%



(2)「学びの振り返り」に関する質問項目について、中間評価を受けて授業における振り返りを大切に実践してまいりましたが、今回の結果では生徒の肯定的な回答割合がやや減少しました。

生徒			教職員		
質問	期末	中間	質問	期末	中間
授業で、自分の学びや気づきなどを振り返ることができていますか。	75%	84%	授業で、生徒が学びや気づきなどを振り返る機会を設定している。	92%	79%

(3)「生活習慣」に関する質問項目については、右の表の通りです。これまで、手書き手帳を活用しながら生活習慣の見直しを促してきましたが、今回の結果では、生徒たちのメディア利用に関する自己管理に課題が残っていることが明らかになりました。

保護者			生徒		
質問	期末	中間	質問	期末	中間
お子様は食事や睡眠など規則正しい生活習慣が身についていると思いますか。	77%	78%	自分の生活を見直し、より良くしようとしていますか。	70%	84%
お子様は各種メディアに触れる時間を自分で管理できていると思いますか。	18%	65%			

この点について、12月に実施した生活リズムアンケートでは、生徒のメディア利用に関して右の表のような傾向が見られました。

メディア利用が長時間になっていくと、集中力の低下、学習・睡眠時間の減少、心身の健康への影響が懸念されます。

メディア利用	平日	休日
平均利用時間	約2時間30分	約3時間40分
2時間以上と回答した生徒の割合	約54.2%	約85.4%

平日		メディア利用時間 (学習以外)		休日	
グラフ	回答人数		回答人数	グラフ	
	0	30分以下	0		
	7	30分～1時間	1		
	15	1～2時間	6		
	14	2～3時間	15		
	7	3～4時間	10		
	0	4～5時間	5		
	2	5～6時間	4		
	1	6～7時間	4		
	2	7時間以上	3		

### 【課題解決に向けた今後の取組】

本校の今年度の重点目標は、『共に学び、自らの成長を実感できる生徒の育成「充実感」と「達成感」』です。仲間と協力しながら学び、自分の力が伸びていることを感じられることは、子どもたちの自信と未来への希望につながります。これから今回の評価で明らかになった成果を生かし、課題を解決するために以下の取組を推進してまいります。

- (1) 授業で学んだことの振り返りについて、手帳を活用して家庭学習につなげる取組
- (2) 手帳の活用を工夫して生活習慣の見直しを促し、家庭学習とメディア利用を控える取組を連動させた取組

また、保護者の皆様からのご意見で、生徒が利用するiPadのパスコードの把握を希望する声をいただいております。規則正しい生活リズムを身につけ、学習時間をしっかり確保するためにも、家庭と学校が連携して見守ることは大切です。パスコードの確認を希望される場合は、どうぞ学校までお問い合わせいただき、ご相談ください。

体育祭の競技における安全面のより一層の充実や、学校祭パンフレットの早期配布など、貴重なご意見もいただきました。こうした声を真摯に受け止め、よりよい教育活動となるよう努めてまいります。いただいたご意見の検討状況や対応についても、今後しっかりと情報発信し、保護者の皆様との信頼関係をより深めてまいります。

さらに、学校運営協議会委員の方からは、「道で中学生とすれ違くと、気持ちのよい挨拶をしてくれ、成長を誇らしく感じます」との温かいお言葉をいただきました。

こうした生徒たちの姿は、学校での指導だけでなく、ご家庭における日頃の温かな関わりの賜物でもあると感じています。だからこそ、今後も学校の教育活動へのご理解とご協力をいただきながら、家庭と学校が連携・協働し、生徒たちのさらなる成長へとつなげていきたいと考えています。

そして今後も、協議会でのご意見や熟議の内容を教育活動に生かし、生徒たちのさらなる成長につなげていけるよう努めてまいります。

### 【その他の質問項目について】

保護者			生徒			教職員			学校運営協議会委員		
質問	期末	中間	質問	期末	中間	質問	期末	中間	質問	期末	中間
学校生活を通して、お子様の成長を感じますか。	86%	96%	学校生活は楽しいと感じますか。	86%	90%	いろいろな人と関わる中で、学校の教育活動が子どもたちの成長につながっている。	100%	100%	学校からの情報提供は分かりやすく、適切だと思いますか。	100%	100%
お子様は学校の学習に前向きに取り組んでいると思いますか。	82%	83%	仲間と共に学ぶ中で、自分の考えや行動が変化していると感じますか。	80%	76%	生徒に夢や目標をもたせる教育活動が展開できている。	92%	92%	学校の教育活動について十分に知ることができていますか。	100%	67%
学校からの連絡や情報提供(学級通信・学校だよりなど)は分かりやすく、適切だと思いますか。	86%	87%	自分と違う考えの人の話を、最後まで聞くようにしていますか。	96%	100%	<div style="text-align: center;"> <p>学校評価の位置づけ</p> <p>PLAN 計画 DO 実行 CHECK 評価 ACTION 改善</p> <p>PDCA サイクル</p> <p>学校評価 行動を評価・分析</p> </div>	協議会で熟議した内容が学校の教育活動に活かされていると感じますか。	60%	100%		
学校の教育活動や行事について、十分に知ることができていますか。	91%	91%	自分から挨拶や言葉づかいに気を付けていますか。	94%	97%						
学校の施設や設備、学習環境は安全、安心だと感じますか。	96%	96%	自分の夢や目標について考えていますか。	72%	71%						
学校の教育活動に満足していますか。	91%	83%									